



# なんとしても今国会での成立阻止を 壮大な国民の共同で戦争法案反対のたたかいを広げよう

6月3日の本会議2日目一般質問のトップバッターとして清水議員が「平和安  
全法制整備法案（戦争法制）について問う」として、現在国会で審議されている  
戦争法制について、市長の考え方を質問しました。市長の考え方は明確で、「容認  
できない」との考え方でした。日本共産党米原市議団としては、現在「意見書」  
も提出しており、今国会での「廃案」を目指して、取り組んでいます。

問 「集団的自衛権」で「戦争に巻き込まれる恐れがなくなっていく」という安倍首相発言について

答 内閣が憲法解釈の変更だけで、集団的自衛権を行使できるとすることは、憲法に基づく政治、立憲政治を否定し、憲法を有名無実化するものであり到底許され  
ない。今国会における安全保障法制の政  
府答弁は、「海外での武力行使は許されな  
い」としてきた日本の安全保障を大きく  
転換するものであり、これまでの政府見  
解を逸脱する到底容認できるものではな  
い。

問 「自衛隊のリスクは高まらない」との  
防衛大臣の答弁について

答 安倍総理と防衛大臣の認識においては  
違いも見られます。まともな説明をしな  
い政府に対する不信感が高まっているの  
ではないかと見ている。共同通信の世論  
調査では、自衛隊が戦争に巻き込まれる  
リスクに関して、「高くなる」というのは  
68%、7割近くがこのように答えてい  
ます。どこから見ても、戦争をするため  
の法案が成立すれば、自衛隊のリスクは  
高まるのは自明の理である。国の最高機  
関である国会にふさわしい与野党論議、  
正確かつ誠実な議論、説明を求めたいと  
思っている。

問 アメリカ議会で法案成立を約束したこ  
とについて

答 この法案が国会にも提出されていな  
い、あの段階で、また、これほど重要な  
法案にもかかわらず、法案の成立時期を、  
なぜアメリカ議会で言及するのか、ひと  
りの日本国民として、納得できない。

問 テロの危険がより増すことは避けられ  
ないことについて

答 今日まで、実際に日本は国際紛争に巻  
き込まれるようなことはなかった。国際

## 雑感

全国革新懇ニュースに憲法学者の小林節さんとのインタビュが掲載さ  
れています。「私は30年余、自民党のエリート連中と戦争と平和について議論し  
てきた。1億人の国民を救うために3千人の兵隊が戦死しても誤差の範囲と平気で  
話し合った。しかし娘が生まれ、命の大切さを実感した。1人ひとりがかけがいの  
ない命」そして「日本がなすべきことは、“戦争の留め男”」。氏は憲法審査会で戦  
争法案を違憲とした憲法学者の一人。「反省」出来ない安倍首相はダメダメ。

## 許さない！戦争する国づくり 6・14県民集会

一憲法を否定する集団的自衛権の

閣議決定撤回・戦争立法中止一

日時 2015年6月14日(日)

13:30~15:30

場所 大津市膳所城址公園

内容 集会(オープニング・漫談)

リレートーク・デモ

主催 実行委員会(077-522-4965)

問 安倍首相の「積極的平和主義」につ  
いて

答 日本は、戦後70年間、憲法第9条  
によって、戦争の放棄と戦力の不保持  
を徹底して、いわゆる恒久平和主義を  
貫いてきたわけであります。この平和  
国家日本のブランドは、やはり戦争を  
しない国・日本なのだと思っていま  
す。平和主義を唱いながら、軍備の拡  
張や鎧を着ることに熱心であっては  
ならないと思っています。

問 日本は憲法9条を持つ国。国際貢献  
は武力によらず貢献できる。

答 私は、政府をはじめとする政権与党  
には、戦争の放棄と恒久平和を誓いま  
した平和憲法の理念を再認識いただ  
いて、武力によらない国際平和や国際  
貢献の在り方、立場に立ち戻って、恒  
久平和に努めていただきたいという  
ふうに考えています。